

## 図書館利用者と館長との懇談会要録

- 1 日 時 平成 20 年 6 月 15 日（日）午後 2 時～4 時
- 2 場 所 大泉図書館 2 階 視聴覚室
- 3 参加者 区 9 名  
光が丘図書館長・施設計画主査・電算システム係長・事業係長  
こどもサービス係長・障害者サービス係長・大泉図書館長  
稲荷山図書館長・南大泉図書館長

### 図書館利用者 23 名

- 4 議 事 司 会 大泉図書館長

- ① 開会
- ② あいさつ 光が丘図書館長
- ③ 大規模改修について 大 泉図書館長
- ④ 質疑応答
- ⑤ 閉会

- 5 光が丘図書館長あいさつ（趣旨）

本日は、大泉図書館長が近隣地域の図書館利用者の皆様の声を聞かせていただく会です。

また、隣接する稲荷山図書館・南大泉図書館の館長も出席しておりますので、このエリアに共通した課題についても、是非、ご意見をお聞かせいただければと思います。

後ほどご説明申し上げますが、大泉図書館は開館してから約 30 年を経過し、建物が老朽化していることから、大規模改修を行い、新たな時代のニーズに応えられる図書館へと生まれ変われればと思っております。

休館中、皆様には、ご不便をお掛けしますが、何卒よろしくお願いいたします。

また、HP 等の広報で、本日の会は図書館全体の課題について、話し合いが持たれるとご期待の方もいらっしゃると思いますが、全体の課題については、別に機会を設けたいと思いますのでご容赦ください。

何れにしましても、より良い図書館を作るため、忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。

- 6 図書館利用者からの質疑内容

Q 改修後の視聴覚室はどの場所に移りますか。

A 現在の読書室を一部改装し、今と同じ広さで設置します。

Q 蔵書数は、どの位増えますか。

A 約5万点増える予定です。徐々に買え揃えて行き最終的に約20万点を目標としております。

Q 閲覧室の席数は減りますか。

A 現在より、若干増える予定です。

Q 読書室は、学習室ではない旨の貼紙がある。それならば、勉強している人を注意して欲しい。また、飲食においても同様にペットボトルを机の上に置いてあれば注意をして欲しい。

A 飲食については、新たに自販機コーナーを設けることで対応したいと考えております。

Q 利用者との懇談会という趣旨であれば、皆の顔がお互い見えるように円卓などにするべきではないか、本日の机の配置では、何か利用者が区に対して要求や回答をもらうような感じに見えてしまう。今後は、工夫をお願いしたい。

A 会場の都合で、このような形にしたが今後は改めます。

Q 稲荷山図書館は工夫をして、飲食のできるスペースを確保するべきではないか。

A 検討して参ります。

Q 相互貸借の協力を得られる自治体の範囲を教えて欲しい。

A まずは、近隣の自治体を当たりますが、無ければ、全国の図書館に対象を広げていきます。

Q 大泉図書館が新しくなった際は、開架スペースを増やして欲しい。

A 事務室を削り、約1万2千点増設予定です。

Q 今後電算システムを増強する際には、杉並区のように、所蔵していない資料についても、検索できる様にして欲しい。

A ご意見として承りました。

Q HSの督促については、施設の職員に連絡するのを止めてもらいたい。

合わせて、返却の日付を墨字で大きく記載して欲しい。

A その様にいたします。

Q 大泉図書館の児童コーナーに設置されている鳩時計を、新しくなる児童コーナーにも設置して欲しい。

A ご意見を生かせるようにいたします。

Q 蔵書資料が閉架書庫に行くのは仕方ないが、資料の中身が分かるよう目次のコピーなどを備えて欲しい。また、全集などについては、総索引や総目録などを備えて欲しい。

A 効果的な方策について研究して参ります。合わせて、職員にお気軽に声を掛けていただければと思います。

Q 大学図書館が利用できると聞きましたが、どの様な手続きをすればよろしいですか。

A 大学に対して紹介状を出すという制度です。ただし、条件がございますので、ご利用の際は、職員にご相談下さい。

Q 武蔵大学図書館は有料であり、自宅からも遠いため、近隣市区の大学図書館も対象にして無料で利用できるようにならないか。

A 今後の検討課題とさせていただきます。

Q 図書館でのルール作りに供するため、HPなどに掲示板などを作ってはいかがか。(例 図書館で帽子をかぶるのは是か非か。)

A 今後の検討課題とさせていただきます。

Q 長期未返却の利用者に対して、罰則などの適用は考えているか。

A 現在は、ございません。ただし、返していただくまでは、利用停止となります。将来的には、検討しなければならないと思います。

Q 最寄りの図書館が自宅から遠いため、図書館以外の施設でも図書資料の返却ができるようにはならないか。

A 研究して参ります。

Q ブックスタートは、なぜ、図書館で行うようになったのか。

A 結核予防法が改正され、従来4か月検診を2日間で行っていたものが、1日になってしまったことによります。

ただし、子育て支援の観点から図書館では、手遊びや読み聞かせなどのご相談も受けながら本をお渡ししているので、ご理解をいただければと思います。

Q 本日の会について、大きな案内板を用意すべきであった。

資料に平面図がないのはいかがかと思う。⇒ (会の最後に配付した。)

何%省エネになるか、屋上緑化により緑比率が何%になるかなど、館長は数字を抑えていて欲しい。

なぜ、改修計画を立てる前にこの様な会を持って意見を聞かなかったのか。

自動貸出機の調子が悪いなら、張り紙をするべきではないか。

光が丘図書館は、懇談会を開催するに当たり1か月半位前からアンケート

を各館で配付している。前もって意見や要望を吸い上げて、当日、回答を含めた資料が配布されると、会議の効率化に繋がると思う。

A ご意見として承りました。

Q 改修費用はいくらか。

A 約4億2千万円です。

Q 現在の図書館は、何年に開館したのか。

A 昭和55年2月です。

Q 今後、本日の様な懇談会をどう開催していくのか教えてください。

合わせて、全体的な意見を集約する機会はどうなっていくのか教えて欲しい。

A 今年度から新たに始めたものなので、これから、より良い懇談会にするため、皆様の意見を聞きながら進めて参りたいと思います。

Q 本日の会は、光が丘図書館長を初め4館の館長が揃うということで楽しみにしてきたが、大泉図書館の大規模改修がメインになり、期待はずれの面がある。今後に期待する。

A 本日は、大泉図書館に特化したものをやりたかったというのが思いでした。分かりにくかった点については、今後の反省材料として、検討して参ります。

Q 本日の話しの中で一番の問題は、大泉図書館の資料を全て凍結してしまうことだ。

過去の改修においても凍結したなどということは聞いたことがないので、理由をお聞かせ願いたい。

また、大泉図書館所蔵の1点ものだけでも流通する工夫は、出来なかったのか。

A 大規模改修で柱を残し建物全てを改修するため、蔵書資料を保管する場所がないためです。

なお、過去には、アスベストの除去工事を行いましたが、その際にも蔵書資料の流通を停止しておりますが、CDは点数が少ないことから、閉館期間の中途から、流通を再開した経緯がございます。

大泉図書館1点ものの資料についても、約2万4千点あり、代替の保管場所を確保することは難しい状況と判断しました。

皆様には、ご不便をお掛けしますが、何卒ご理解を賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。

Q HS利用者の事を考慮して、開催場所についても検討願いたい。

A 今後、検討いたします。

(大泉図書館長より、平面図を通し書架計画などを説明)

(以上で閉会)

(事務局：大泉図書館)